

浦和競馬場走路照明第 2 工区建築工事

- 1000 建 築 図
- 2000 建 築 構 造 図
- 3000 電 氣 設 備 図
- 4000 空 気 調 和 設 備 図
- 5000 給 排 水 衛 生 設 備 図
- 6000 外 構 図

1. 建築概要

工事名称	浦和競馬場走路照明第2工区建築工事	(申請部分)	(申請部分当該建物以外)	(申請以外の部分)	(合計)	
工事場所	埼玉県さいたま市南区大谷場一丁目8番42号	敷地面積	147,666.67 m ²			
建築主住所氏名	埼玉県さいたま市南区大谷場一丁目8番42号 埼玉県浦和競馬組合	建築面積	- m ²	- m ²	- m ²	
都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等	○さいたま都市計画区域内 (○市街化区域 ・ 市街化調整区域 ・ 区域区分非設定) ・ 準都市計画区域内 ・ 都市計画区域及び準都市計画区域外	延べ面積(建築物全体)	- m ²	- m ²	- m ²	
用途地域	・ 第×種低層住居専用 ・ 第×種中高層住居専用 ○ 第1種住居 ・ 準住居 ・ 近隣商業 ・ 商業 ・ 準工業 ・ 工業 ・ 工業専用 ○ 無指定	地階の住宅の部分	- m ²	- m ²	- m ²	
防火地域	・ 防火地域 ○ 準防火地域 ○ 指定なし	共同住宅の共用の廊下等の部分	- m ²	- m ²	- m ²	
法定容積率	200 %	昇降路の部分	- m ²	- m ²	- m ²	
法定建ぺい率	60 %	自動車庫等の部分	- m ²	- m ²	- m ²	
その他の区域、地域、地区又は街区	無指定エリア(過半): 都市計画公園(浦和記念公園)、景観誘導区域、下水道処理区域 第1種住居エリア: 高度地区(20m)、景観誘導区域、下水道処理区域	住宅の部分	- m ²	- m ²	- m ²	
法的な技術対応		延べ面積(容積対象)	- m ²			
主要用途	照明柱(工作物)	容積率	- %			
工事種別	○ 新築(照明柱) ・ 増築 ・ 改築 ・ 移転 ・ 用途変更 ・ 大規模の修繕 ・ 大規模の模様替え	駐車台数	0 台	711 台	711 台	
主体構造	・ S造 ・ SRC造 ○ RC造(照明柱) ・ W造	建築物の数	申請に係る建築物の数	-	同一敷地内の他の建築物の数	
耐火・準耐火建築物	・ 耐火建築物 ・ 準耐火建築物 ・ その他	最高の高さ	照明柱: 18 m			
防火対象物の用途区分	-	最高の軒の高さ	- m (平均地盤面より)			
基礎地業	照明柱(21本): 杭基礎	平均地盤面の高さ	- m			
主たる外部仕上		設計地盤面	- m (設計GLの高さ)			
		基準階	階高	- m	天井高	- m
工事着手予定年月日	契約日	主なスパン	- m			
		基礎下端	- m			
工事完了予定年月日	令和5年 1月 31日	その他	・ 客室数	- 室	・ ベッド数	- 床
		特例の適用の有無	・ 住戸数	- 戸	・ 収容人数	- 人
		特例の適用の有無	建築基準法第56条第7項の規定による特例の適用の有無 ・ 有 ○ 無			
		特例の区分	適用があるときは、特例の区分 ・ 道路高さ制限不適用 ・ 隣地高さ制限不適用 ・ 北側高さ制限不適用			
		許可・認定等				

2. 電気設備概要

電力	引込	方式	回線	KV
電源設備	変圧器	1 台	750 KVA	
	発電機		V	KVA
	蓄電池	750Ah-252 セル	420 V	1 組
幹線	C V C F	台	V	KVA
	照明	三相	3 線式	420 V
負荷	設備容量	220.8 KW	線式	V
	基準部照明	400~800 Lux	光源種別	LED
監視制御	その他	調光あり、詳細は電灯設備概要書による。		
	方式	○ 集中 ・ 個別 ・ 遠方 ・ 手元		
電話	引込	回線		
	中継方式			
	内線容量	回線	回線	回線
防災	発電機	台	V	KVA
	蓄電池	セル	V	組
	火災報知機	回線		
	非常照明	・ 電池別置 ・ 電池内蔵 ・ 発電機直入		
	非常放送	W ・ 専用 ・ 兼用		

3. 空調設備概要

熱源	エネルギー	・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ・ 電気 ・ DHC (・ 高温水 ・ 蒸気 ・ 冷水) ・ 太陽熱
空調方式	装置	冷凍機 (・ ターボ 台、 ・ レシプロ式 台、 ・ 吸収式 台、 ・ スクリュー 台) ・ 直燃冷水機 台、 ・ ボイラー 台、 ・ 蓄熱槽 m ³ 、 ・ コレクター m ² ・ 空冷式パッケージ型空調機 (EHP)
	総容量	冷熱源 KW 温熱源 KW
	インテリア	・ 中央式 ・ 個別式 空冷パッケージ方式 (EHP)
制御	ペリメーター	・ 中央式 ・ 個別式 空冷パッケージ方式 (EHP)
	空調	・ 電気式 ・ 空気式 ・ 電子式
換気	防煙ダンパー	・ 電気式 ・ 空気式
	方式	・ 中央式 (・ 1種 ・ 2種 ・ 3種) ・ 個別式 (・ 1種 ・ 2種 ・ 3種)
排煙	方式	・ 自然排煙方式 ・ 機械排煙方式
	制御	・ 電気式 ・ 空気式

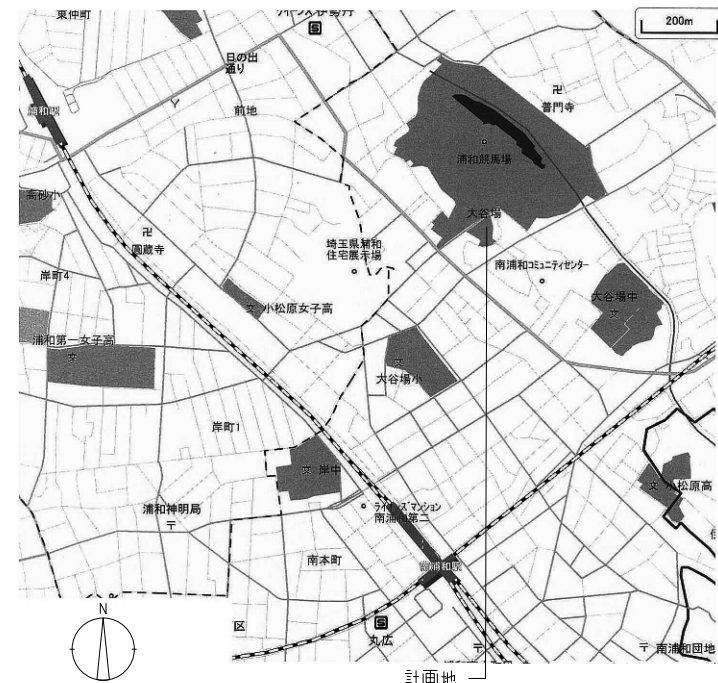
4. 給排水衛生設備概要

給水	水源	・ 上水 ・ 雑用水	引込口径 mm	・ 直結給水 ・ ポンプ圧送 ・ 重力給水
	受水槽	上水 m ² × 基		・ 雑用水 m ² × 基 (ピット利用)
給湯	高置水槽	上水 m ² × 基		・ 雑用水 m ² × 基
	中央式	熱源 (・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ・ 電気 ・ 蒸気 ・ ソーラー)、貯湯槽 (m ² × 基)		
排水	個別式	熱源 (・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ・ 電気 ・ 蒸気 ・ ソーラー)、貯湯槽 (m ² × 基)		
	屋内排水	・ 合流 (・ 地上階 ・ 地下階)、 ・ 分流 (・ 地上階 ・ 地下階)、 ・ 再利用装置 (・ 有 ・ 無)		
	屋外排水	・ 下水道放流 (・ 汚水 ・ 雑用水 ・ 雨水)、 ・ 浄化槽 ()		
ガス	都市ガス	引込口径(中圧 mm) (低圧 mm)、発熱量 (MJ / m ³)		
	プロパン	kg ボンベ 本立 組		
消火	屋内消火栓	・ 屋外消火栓 ・ 連結送水管 ・ 連結散水 ・ スプリンクラー消火 ・ 粉末消火 ・ 泡消火		
	ハロゲン化物消火	・ 炭酸ガス消火 ・ 消防用水 (m ³) ・ 消防水利 (m ³)		

5. 工事区分表

	建築工事	電気設備工事1	電気設備工事2	別途工事
照明器具		●		
照明器具配列架台		●		
建物照明設置部基礎	●			
建物照明用架台		●		
照明柱	●			
照明柱杭基礎	●			
照明柱配管		●		
照明柱雷保護突進		●		
照明柱タラップ	●			
すずらん灯		●		
すずらん灯架台		●		
すずらん灯基礎		●		
1号スタンド照明器具				● (1号スタンド工事)
分電盤		●		
分岐盤		●		
分岐盤基礎		●		
低圧電源線		● (分岐盤~照明)	● (受変電~分岐盤)	
照明制御通信線		●		
小口径推進工事			● (小口径推進工事に伴うハンドホール)	● (インフラ盛替え工事、設備棟~分岐盤まで小口径推進に伴うハンドホール除く)
新設ハンドホール			● (小口径推進工事に伴うハンドホール)	● (インフラ盛替え工事、設備棟~分岐盤まで小口径推進に伴うハンドホール除く)
照明制御設備機器		●		
受変電設備			●	
高圧電源線			● (3号スタンド~走路照明電気室)	
走路照明電気室建物	●			
走路照明電気室内設備			●	
走路照明電気室空調			●	
UPS			●	
地中埋設配管		● (コース内側)		● (インフラ盛替え工事、設備棟~分岐盤まで)
非常用発電機				● (発電機棟工事)

付近見取図



 株式会社 日本設計	承認 / 00.00.00 確認 / 00.00.00 作成 / 00.00.00	完成図 作成 (●)	承認 / 確認 / 作成 /	訂正 / 特記 /	埼玉県浦和競馬組合 課長 飛塚 中里 岩崎 矢島 矢島	設計 1級建築士登録第 322398号 平塚 晋 設計 1級建築士登録第 356122号 齋藤 啓佑	浦和競馬場走路照明第2工区建築工事	図面名称 工事概要書 縮尺 ---	GA1_CUB2.dwg 図面番号 A-1002 区分 建築図
---------------	---	---------------	----------------------	--------------	--------------------------------	---	-------------------	----------------------	---------------------------------------

各工事共通特記仕様書
1 工事概要 (付加)
浦和競馬場走路照明第2工区建築工事
2 表記 (付加)
表記規則

3 工事区分一覧表 (付加)
各工事間の工事区分は以下の表による。
建築 電気 空調 給排水 昇降機

本設切替以降引渡までの電力・水道・ガス・DHC使用料
4 構造設計一級建築士、設備設計一級建築士の関与有無
5 構造体の耐震性能等
6 図書等
1.2節 工事関係図書
1.2.5 (付加) 着工時又は施工中の提出図書等
1.2.6 (付加) 工事中監督員事務所に着用する図書

1.7節 完成図等
1.7.1 (1.6.1) 完成時の提出図書
1.7.2 (1.6.2~3) 完成図等
1.7.3 (置換) 保全に関する資料
1.8節 その他
1.8.1 (付加) 浦和競馬場内での業務中は、「さわやか浦和競馬あいさつ運動」として、相手が誰であってもあいさつを率先して行うこと。


NIHON SEKKEI 株式会社 日本設計
完成 00.00.00
保証 00.00.00
作成 00.00.00

特記
訂正
浦和競馬場

設計 1級建築士登録第 322398号 平塚 哲
設計 1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑
課長 技所参与 主査 担当
飛塚 中里 岩崎 矢島 矢島

浦和競馬場走路照明第2工区建築工事
図面名称 特記仕様書(1)
図面番号 A-1003
縮尺 ---
区画 建築図

2章 仮設工事	6章 コンクリート工事	7章 鉄骨工事	14章 金属工事
<p>2.2節 縄張り,造方,足場その他</p> <p>●2.2.1 (付加) 敷地周辺の工事により影響の受ける可能性のある範囲及び項目について現地調査・測量(高低含)を敷地の状況確認及び縄張り (付加) 現地調査結果を反映した「縄張り計画書(建物位置確認計画書)」を作成して監督員の承認を受ける。</p> <p>●2.2.4 (2) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。 (付加) (5)足場等はJIS規格の施工標準に基づくものとし、仮囲いの材料・外観・仕上などは下記とする。 ※ 監督員と協議する ・ 設置しない (付加) (6)騒音・振動計の設置 ※ 監督員と協議する ・ 設置しない (7)墜落制止用具の使用は、「墜落制止用具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省 H30.6.22)による。 ・ フルハーネス型落下制止用具を用いる。</p> <p>2.3節 仮設物</p> <p>●2.3.1(1.1.12) (付加) 監督員事務所、受注者事務所等 監督員事務所の規模 種別 (面積) ・ 1号 (10㎡程度) ・ 2号 (20㎡程度) ・ 3号 (35㎡程度) ・ 4号 (65㎡程度) ・ 5号 (100㎡程度) ・ 他 (程度) 監督員事務所の仕上げ 床:ビニル床シート張り又はタイルカーペット敷き程度以上 内壁、天井:せこうボード張りの上、合成樹脂エマルジョンペイント塗り程度以上 注)監督員事務所を敷地内外の借室を利用する場合も同規模・同仕上げ程度とする。 (2)監督員事務所設備・備品は監督員と協議するものとして下記を原則とする。 また、監督員事務所のレイアウトを提出し、監督員の承認を受ける。 1 監督員事務所は施錠可能とし、3号以上は原則、専用区画とする。仕上げは上記程度とする。 2 電気、給排水、衛生、冷暖房の設備を設ける。 3 什器、備品は下記による。 机、椅子、書棚、見本棚、白板、図面かけ、ロッカー、掛け時計、消火器、ゴム長靴、雨がっぱ、安全ベルト、懐中電灯、電話 4 これらの諸設備を含む監督員事務所の維持管理および工事監理に必要な備品(監理関係図を含む)の費用は工事費に含まれるものとする。 (付加) (4)現場表示板 ○設置する(1.1.12)による表示 ・ 要 ○不要 ・ 設置しない (付加) (5)工事前搬入経路 ○図示 (付加) (6)仮囲い ○図示 (付加) (7)交通誘導員 必要に応じて搬入経路付近に交通誘導員を配置する。 必要箇所 ・ 監督員の指示による ○図示 (付加) (8)快適トイレ ○設置しない</p> <p>●2.3.4 (付加) 構内既存の施設を工事に ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) 工事前搬入電力 構内既存の施設を工事に ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)</p>	<p>下記項目以外は構造特記仕様書による。</p> <p>6.2節 コンクリートの種類及び品質</p> <p>●6.2.5 (2) (7) (a)コンクリート打放し仕上げの種類は表6.2.4.1による、適用箇所は6.8.2.1による。 (付加) (1) コンクリートの仕上がり 種類別 の内外装仕上げ 平たんさ 適用部位による仕上げの目安 種別 柱・梁・壁 床 ・ n種 6.16.2 化粧打放し仕上げ (3mにつき4mm以下) 全て ※ a種 6.16.2 コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び表面状態が必要な場合 (付加)フリーアークセーフフロア範囲は2mにつき6mm未満 a種: 塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤によるタイル張り b種: 防水下地 ○ b種 仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合 3mにつき10mm以下 その他は、仕上げ材の指定する仕様による (カーペット張り、セルフレベリング材塗り、タイル張り、モルタル塗りなど) ・ c種 仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合 1mにつき10mm以下</p> <p>6.3節 コンクリートの材料及び調査</p> <p>●6.6.4 (2)打継ぎ面の目地の寸法 打継ぎ ※ 図示 ・ 20×20 ・</p> <p>6.8節 型枠</p> <p>●6.8.2 (1) (2)コンクリート打放し仕上げの種類とせき板材料及び厚み 材料 (付加) 種別 合板の厚さ 施工箇所 ・ 6.16.2 化粧打放し仕上げ 6.16.2による ・ A種 ※ 12mm ・ 15mm ○ B種 ※ 12mm ・ 照立柱基礎部 ・ C種 ※ 12mm ・ (5)MCR工法の適用は、11.2.7「施工」の特記による。</p> <p>●6.9.6 (付加) 躯体の補修を行う場合は告示1372号に適合する材料であることを確認すること。 構造体コンクリートの仕上りの確認</p> <p>○6.16.2 (付加) (1)目的 「標仕6.2.5、構造体コンクリートの仕上り(2)コンクリートの仕上り状態、(7)コンクリートの仕上げ、(a)合板せき板を用いるコンクリート打放しの仕上げ」に規定されている表6.2.4のA種よりも良好な仕上がりとする。また合板以外の特殊なせき板を用いる場合も同様に良好な仕上がりとするを目的とする。 (2)施工箇所 ※ 図示 ・ (3)コンクリートの試験棟と配合計画 コンクリートは生コン工場を一社とし、調査は試験棟により決定する。決定された調査は変更しない。したがって、温度補正等も考慮の上調査計画すること。 このとき、単位水量は175kg/m以下、水セメント比は55%以下とする。 (4)型枠 型枠材の種類 ※ 型枠用合板 ・ 本実板 ・ 鋼製型枠 ・ ゴム、プラスチック系型枠 型枠用合板の材料及び厚さ 型枠用合板の厚さ ・ 15mm ・ 12mm (支保工強度を確保し、15mm厚と同等の強度とする。) 型枠用合板は表面加工品(樹脂塗装合板)とする。やむをえず現場塗装を行う場合はウレタン系樹脂とする。 当型枠用合板は、新品を使用し化粧打放し仕上げ部分では転用しない。 型枠の寸法は900mm×1800mmを基本とし、割付によってそれを超える寸法に対応できる型枠とする。 型枠およびPコーン割付は、割付図を作成して監督者の承認を受ける。Pコーン割付は、縦横@450mmを基本とする。 側圧の検討を行い、適切な支保工強度を確保し施工計画書に反映させる。 型枠ジョイント部は、止水テープ等のノロ漏れ防止処置を行う。 入隅の木口はかんな掛けを行い、ウレタン塗装を行う。 水平・垂直の打ち継ぎは打継ぎ部詳細及び打継ぎ計画図を作成し、監督者の承認を受ける。 鉄骨にセパレーター貫通孔を設ける場合は、鉄骨製作段階で最終割付を考慮して設ける。 開口回り等で型枠形状の特殊な部位は予め型枠計画図を作成し、監督者の承認を受ける。 建具など製作物関連との取合いが生じるものは、事前に製作寸法を確認できる計画とする。 設備機器の取付け方法についても設備業者と協議して計画を行う。 本実板の材料 樹種 () 寸法・板厚 () パネル寸法 (×) 鋼製型枠の材料 材質 () 寸法・板厚 () パネル寸法 (×) ゴム、プラスチック系型枠の材料 材質 () 寸法・板厚 () パネル寸法 (×) (5)打設計画書 一日の打設数量、ポンプ車・作業員の配置および打設順序等を検討したコンクリート打設計画書を作成し、監督者の承認を受ける。 (6)試験施工 基礎もしくは地下ビットなどで型枠の組み方、たたき方法、バイブレーターの使用方法、棧木の入れ方、面木材質、釘処理、ノロ防止、設備機器打込み方法およびコンクリート表面状態を検討するため試験施工を実施し、打設計画書に反映させること。 (7)コンクリートの仕上がり精度 コンクリートの平たんさは、3mにつき4mm以下とする。 (8)養生計画書 打設後の表面の汚れを防止するための方策を検討して養生計画書を作成し、監督者の承認を受ける。 (9)打放し化粧仕上げ面の補修 打放し化粧仕上げ面の補修範囲および補修方法は監督者の承認を受ける。 補修方法は表面仕上材と整合していること。 (10)表面仕上げ材の塗装試験 ※ 行う ・ 行わない (11)モックアップ ※ 行う (大きさW _____mm×H _____mm程度) ・ 行わない</p>	<p>下記項目以外は構造特記仕様書による。</p> <p>7.9節 耐火被覆</p> <p>○7.9.2 耐火被覆の種類及び性能</p> <p>※ 下記による。(建築基準法施行令第107条による仕様規定の場合) ・ 構造特記仕様書による。(建築基準法施行令第108条による耐火性能検証の場合) 種別 材料・工法 部位 ・ ラス張りモルタル塗り - ・ 耐火材吹付け ・ 半乾式吹付けロックウール ・ セラミック系耐火材吹付け ・ 石膏系耐火材吹付け ・ セラミック系耐火材にて押え ・ 耐火板張り ・ 耐火材巻付け ・ けい酸カルシウム板 ・ ロックウール巻付け (・ 箱張り ・ 直張り) ・ 膨張型耐火シート巻付け ・ 耐火塗料塗り ・ 鉄骨梁貫通部耐火被覆材 ・ 熱膨張性薄型耐火被覆材 ・ 高性能耐火被覆材 耐火塗料塗りの仕上塗料の種類 (・ 内部用 ・ 外部用) 耐火被覆の仕様は製造所の製品の大臣認定仕様による。 耐火被覆材の落下防止対策 (7)耐火被覆が必要な部位に閉止め塗装を施す場合は、耐火被覆の接着性を阻害しない塗装材を選択すること。 (1)半乾式ロックウールを使用する場合はスラリー吹き等発塵対策をすること。 性能 性能 部位・部分 ・ 30分耐火 ・ 1時間耐火 ・ 2時間耐火 ・ 3時間耐火</p>	<p>14.1節 共通事項</p> <p>●14.1.2 (付加) (4)設計用震度は各節の記述による。 基本要項品質 (付加) (5) ※ 表面処理・仕上・特殊な加工または難しい加工については、あらかじめ見本を提出し監督者の承認を受ける。 (付加) (6)熟伸縮を考慮すること。 (付加) (7)外部、くり返し荷重をうける部位、落下の危険性のある部位のボルト・ビスは、ゆるみ止め機能のあるものを選定し、監督者の承認を受ける。</p> <p>●14.1.3 (付加) あと施工アンカー 工法 躯体に固定するアンカーは原則として打込みとする。やむを得ずあと施工アンカーとする場合は、部位、アンカー種類、施工後の確認試験等について施工計画書を提出し、監督者の承認を受ける。施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>14.2節 表面処理</p> <p>○14.2.1 (付加) ステンレスの表面仕上げ 表14.2.5 仕上の種類 施工箇所 仕上の種類 施工箇所 ※ ヘアライン仕上げ (HL) ※ No2B仕上げ 屋内で軽易な場合 ・ エッチング ・ バイブレーション (VR) ・ パワ仕上げ (No7) ・ 鏡面仕上げ (No8) ・ 塗装仕上げ 外部鋼製建具枠</p> <p>(付加) ステンレスの種類 使用箇所 ステンレスの種類 使用箇所 ※ SUS304 一般部 ・ SUS430 ・ SUS430JIL ・ SUS316 ・ SUS443J1</p> <p>○14.2.2 (付加) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (1)表面処理・仕上げ 種別 施工箇所 種別 施工箇所 ・ N-1種 ※ N-2種 17章のオレフィン系 ※ BB-2種 ・ BA-1種 ・ BA-2種 着色塗装は18章による。</p> <p>(付加) N-1・N-2の仕様(日本設計特別仕様) 種類 表面処理 規格番号 種類 膜厚 N-1 無着色 陽極酸化塗装複合被膜 JIS H8602 A1 ※ JISによる N-2 着色 # 被膜厚 9.0μm 塗膜厚 12.0μm</p> <p>(2)陽極酸化皮膜の着色方法 ※ 二次電解着色 (色合) ・ 自然発色 (合金発色及び電解発色等) ・ 三次電解着色</p> <p>●14.2.3 (付加) 鉄鋼の亜鉛めっき (1)鉄鋼の亜鉛めっき (表14.2.2) 表面処理方法 種別 施工箇所 溶融亜鉛めっき ○ A種(550g/㎡以上) ○ B種(450g/㎡以上) ○ C種(350g/㎡以上) 電気亜鉛めっき ・ D種(20μm以上) ・ E種(12μm以上) ・ F種(8μm以上)</p> <p>(付加) 常温金属溶射 ・ MS工法 溶接接合箇所・めっき面の補修 常温亜鉛めっき ・ ZRC工法 溶接接合箇所・めっき面の補修 ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきまたはステンレス製とする。</p> <p>○14.2.4 (付加) りん酸亜鉛処理 製造所の仕様によるものとし、見本を提出すること。(使用箇所:)</p> <p>○14.2.5 (付加) その他の表面処理鋼板 ガルバリウム鋼板は、JIS G 3321 溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯による。 塗装ガルバリウム鋼板は、JIS G 3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯による。 高耐久めっき鋼板は、JIS G 3323 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯による。</p>
<p>3章 土工事</p>			
<p>3.2節 根切り及び埋戻し</p> <p>●3.2.1 (付加) 根切り (8)のり面に崩壊のおそれのある場合は工事に支障をきたさないように処置する。</p> <p>●3.2.2 (付加) 排水 (4) 排水による周辺環境への有害な影響を防止すること</p> <p>●3.2.3 (2) ○ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 埋戻し及び盛土 ○ 搬入土の場合は土壌汚染対策法の特定有害物質について調査を行ない、同法に定める含有物質に適合したもののみとする。</p> <p>●3.2.5 (付加) 建設発生土の処理 ・ 説明書による ※ 構外搬出適切処理 ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷きならし</p> <p>3.3節 山留め</p> <p>○3.3.3 (付加) 山留めの撤去 山留めの存置 ・ 撤去する ・ 存置する (施工箇所) ただし本設工事に影響する範囲は撤去する。 また存置する場合は、存置図を作成し完成図に記載する。</p>			
<p>4章 地業工事</p> <p>構造特記仕様書による。</p>			
<p>5章 鉄筋工事</p> <p>構造特記仕様書による。</p>			

	<table border="1"> <tr> <td>承認</td> <td>/00.00.00</td> <td>完成</td> <td>/00.00.00</td> </tr> <tr> <td>確認</td> <td>/00.00.00</td> <td>作成</td> <td>/00.00.00</td> </tr> </table>	承認	/00.00.00	完成	/00.00.00	確認	/00.00.00	作成	/00.00.00	<table border="1"> <tr> <td>承認</td> <td>/</td> <td>承認</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>確認</td> <td>/</td> <td>作成</td> <td>/</td> </tr> </table>	承認	/	承認	/	確認	/	作成	/	<table border="1"> <tr> <td>訂正</td> <td>-</td> <td>特記</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td>-</td> </tr> </table>	訂正	-	特記	-		-		-		-		-	<table border="1"> <tr> <td>埼玉県</td> <td>浦和競馬組合</td> <td>課長</td> <td>技師参考</td> <td>主査</td> <td>主査</td> <td>担当</td> </tr> <tr> <td>飛塚</td> <td>中里</td> <td>岩崎</td> <td>矢島</td> <td>矢島</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	埼玉県	浦和競馬組合	課長	技師参考	主査	主査	担当	飛塚	中里	岩崎	矢島	矢島			<table border="1"> <tr> <td>設計</td> <td>1級建築士登録第 322398号 平塚 晋</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	設計	1級建築士登録第 322398号 平塚 晋	設計	1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑					<p>浦和競馬場走路照明第2工区建築工事</p>	<p>図面名称 特記仕様書(3)</p> <p>縮尺 ----</p>	<p>TOK_CUB2.dwg</p> <p>図面番号 A-1005</p> <p>区画 建築図</p>
承認	/00.00.00	完成	/00.00.00																																																							
確認	/00.00.00	作成	/00.00.00																																																							
承認	/	承認	/																																																							
確認	/	作成	/																																																							
訂正	-	特記	-																																																							
	-		-																																																							
	-		-																																																							
埼玉県	浦和競馬組合	課長	技師参考	主査	主査	担当																																																				
飛塚	中里	岩崎	矢島	矢島																																																						
設計	1級建築士登録第 322398号 平塚 晋																																																									
設計	1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑																																																									

14.4節 軽量鉄骨天井下地
14.4.1 適用範囲
14.4.2 材料
14.4.3 形式及び寸法
14.4.4 工法

14.5節 軽量鉄骨壁下地
14.5.1 基本要求品質
14.5.3 形式及び寸法
14.5.4 工法
14.6節 金属成形板張り(天井)
14.6.1 基本要求品質
14.6.2 材料
14.6.3 工法

14.9節 その他
14.9.1 金網類
14.9.2 パンチングメタル
14.9.3 エキスパンメタル
14.9.4 接合腐食の防止
接合腐食防止処理は下表による

18.4節~18.14節 塗料塗りの種別
18.4~18.14 塗料塗りの種別
18.7節 耐候性塗料塗り(DP)

14.4節 軽量鉄骨天井下地(特定天井及び耐震天井)

14.7節 アルミニウム製笠木
14.7.1 適用範囲
14.7.2 材料
14.7.3 工法

18章 塗装工事
18.1節 共通事項
18.1.1 一般事項
18.1.3 材料

18.7.5 (付加) コンクリート素地面に
対するクリア塗装

14.4.5 特定天井
14.4.6 耐震天井

14.8節 手すり及びタラップ
14.8.2 手すり
14.8.3 タラップ
14.8.4 手すりの強度

18.2節 素地ごしらえ
18.3 錆止め塗料塗り
18.3.2 塗料種別
18.3.3 錆止め塗料塗り

18.7.6 (付加) P C面微生物へアタック
追従型ふっ素樹脂塗料
表: 工 程, 種別, 塗料・その他, 塗付量

NIHON SEKKEI
株式会社 日本設計

特記
訂正

設計
1級建築士登録第 322398号 平塚 哲
1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑

浦和競馬場走路照明第2工区建築工事
特記仕様書(4)
A-1006
建築図

22章 舗装工事	
22.1節 一般事項	
●22.1.2 基本要品質	(付加) 本章で定める以外の事項は、日本道路協会発行「舗装設計施工指針」、「アスファルト舗装要綱」、「セメントコンクリート舗装要綱」、「簡易舗装要綱」、「転圧コンクリート舗装技術指針(案)」各最新版による。
22.2節 路床	
●22.2.2 路床の構成及び仕上り	(1) (f)凍上抑制層 ※ 図示 ・ 設ける (厚さ mm) ・ 設けない (f)透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ 車道部 ※ 150mm ・ mm ・ 図示 歩道部 ※ 50mm ・ mm ・ 図示 (g)路床安定処理 (a)適用 ※ 路床土の設計CBRが2未満の場合、監理者と協議して路床安定処理を行う。 ・ 図示 ・ 行わない (b)方法 ※ 添加材料による安定処理 (厚さ 300mm、目標CBR 5以上) ・ 図示 (付加) (c)路床土の設計CBRが2以上5未満の場合は、舗装の構造を監理者と協議する。 (付加) (d)凍結融解を受ける寒冷地方において、10年確率凍結深度の7割の深さよりも舗装厚さが小さい場合は舗装の構造を監理者と協議する。
●22.2.3 材料	(1)盛土に用いる材料 (表3.2.1) ※ A種(山砂の類) ・ B種(根切り土中の良質土) ・ C種(他現場の建設発生土中の良質土) ・ D種(再生コンクリート砂) (2)凍上抑制層に用いる材料 ※ 砂、切込砕石 ・ 火山灰、火山礫 ・ 図示 フィルター層に用いる材料 ※ 砂 ・ 切込砕石 ・ 図示 (3)路床安定処理用材料 路床安定処理用添加材料 ※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ その他 (・ セメント系安定材 ・ 石灰系安定材)
●22.2.5 試験	(1)路床土の支持力比(CBR)試験 ※ 行う (※ 乱した土 ・ 乱さない土) ○ 行わない (2)路床締固め度の試験 ※ 行う ○ 行わない (3)現場CBR試験 ⊗ 行う ・ 行わない (付加) (5)路床土の支持力比(CBR)試験、路床締固め度の試験、現場CBR試験の箇所数は、舗装面積1000㎡以下は3箇所、1000㎡を超える場合は 更に1000㎡ごと及びその端数につき1箇所増した数を目安とし、監理者との協議により決定する。 (付加) (6)セメント及びセメント系固材による路床安定処理を行う場合は、六価クロム溶出試験を行うこと。
22.3節 路盤	
●22.3.2 路盤の厚さ及び仕上り	(1)路盤の厚さ ※ 図示
●22.3.3 材料	(1)路盤材料 ※ 砕石及び再生材のクラッシュラン、粒度調整砕石、クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 図示 ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
22.4節 アスファルト舗装	
●22.4.2 舗装の構成及び仕上り	(1)アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 (4)舗装の平たん性 ※ 水たまりを生じない程度
●22.4.3 材料	(1) (f)再生アスファルトの種類 ○ 60~80 ・ 80~100 (5)シールコート用の乳剤 ○ PK-1 ・ PK-2
●22.4.4 配合その他	(1)表層の加熱アスファルト混合物及び再生加熱アスファルト混合物の種類 地域 一般地域 寒冷地域 種類 ※ 密粒度7.5以下混合物 (13) ※ 密粒度7.5以下混合物 (13F) ・ 細粒度7.5以下混合物 (13)
●22.4.6 試験	(3) (f)アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ※ 行わない (付加) アスファルト混合物等の抽出試験を行わない場合、アスファルト混合所の材料計量印字記録を提出し、配合が基準値を満足する事を示すこと。
22.5節 コンクリート舗装	
○22.5.2 舗装の構成及び仕上り	(1)構成及び厚さ ・ 下表による ※ 図示 舗装の種類 部位 舗装の厚さ 溶接金網 コンクリート舗装 車路及び駐車場 ※ 150mm ・ 200mm ※ 有 ・ 無 歩行者用通路 ※ 150mm ・ 70mm ※ 有 ・ 無 園路部 70mm ※ 有 ・ 無 寒冷地の縁部立下り ※ 適用する ・ 適用しない 寸法 ※ 図示 ・ mm (4)舗装の平たん性 ※ 水たまりを生じない程度
○22.5.3 材料	(1)コンクリートの種類、設計基準強度、スランプ及び粗骨材の最大寸法 ※ 表22.5.1「下表」による 部位 設計基準強度(N/mm ²) 所要スランプ(cm) 粗骨材の最大寸法(mm) ※ 車路及び駐車場 24 8 砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25 ※ 歩行者用通路 18 8 砂利の場合25 砕石の場合20 ・ 図示 (2)早強ポルトランドセメント ※ 使用する ・ 使用しない (4)注入目地材料の種類 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ

○22.5.4 施工	(置換) (5) (f)目地の種類及び間隔 「標仕」表22.5.3は下表に置き換える。 コンクリート舗装の目地 <table border="1"> <tr> <th colspan="2">部位</th> <th>目地の種類</th> <th>目地の間隔</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">駐車場、広場等</td> <td>縦横方向</td> <td>伸縮目地</td> <td>10m程度ごと</td> </tr> <tr> <td>縦横方向</td> <td>収縮目地</td> <td>伸縮目地の間に3m程度ごと</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">車路及び歩行者用通路</td> <td>縦方向</td> <td>突き合せ目地</td> <td>3m程度ごと</td> </tr> <tr> <td>横方向</td> <td>収縮目地</td> <td>3m程度ごと</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">舗装内の樹の周囲</td> <td>縦横方向</td> <td>伸縮目地</td> <td>10m程度ごと</td> </tr> <tr> <td>縦横方向</td> <td>伸縮調整目地</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>建築物、構造物との取合い</td> <td>縦横方向</td> <td>伸縮調整目地</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>図がない場合は、「構内舗装・排水設計基準(社団法人公共建築協会)平成27年版」2.5.4目地の図2.5.3コンクリート舗装の目地の構造「横断目地」と同構造とする。 (付加) 注入目地材の底部は粘着テープ、バックアップ材等でコンクリート版、目地板から絶縁を行うこと。 (付加) 目地の割付は図面を監理者に提出し、位置を確認すること。 (付加) 真空コンクリート工法 ※ 行わない ・ 行う (・ 円形溝 ・ 横溝 ・ 溝なし)</p>	部位		目地の種類	目地の間隔	駐車場、広場等	縦横方向	伸縮目地	10m程度ごと	縦横方向	収縮目地	伸縮目地の間に3m程度ごと	車路及び歩行者用通路	縦方向	突き合せ目地	3m程度ごと	横方向	収縮目地	3m程度ごと	舗装内の樹の周囲	縦横方向	伸縮目地	10m程度ごと	縦横方向	伸縮調整目地	—	建築物、構造物との取合い	縦横方向	伸縮調整目地	—
部位		目地の種類	目地の間隔																											
駐車場、広場等	縦横方向	伸縮目地	10m程度ごと																											
	縦横方向	収縮目地	伸縮目地の間に3m程度ごと																											
車路及び歩行者用通路	縦方向	突き合せ目地	3m程度ごと																											
	横方向	収縮目地	3m程度ごと																											
舗装内の樹の周囲	縦横方向	伸縮目地	10m程度ごと																											
	縦横方向	伸縮調整目地	—																											
建築物、構造物との取合い	縦横方向	伸縮調整目地	—																											
22.6節 カラー舗装																														
○22.6.2 舗装の構成及び仕上り	(1)カラー舗装の種類 ※ 図示 ・ 下表による <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>表層</th> <th>部位</th> <th>カラー舗装の厚さ</th> </tr> <tr> <td>※ 加熱系カラー舗装</td> <td>アスファルト混合物 石油樹脂系混合物</td> <td>※ 車路 (基層なし) ・ 車路 (基層あり)</td> <td>※ 50 ※ 30</td> </tr> <tr> <td>・ 常温系カラー舗装</td> <td>・ ニート工法 ・ 塗布工法</td> <td>車路及び歩行者用通路</td> <td>3~5 1程度以下</td> </tr> </table> <p>(2) (s)舗装の平たん性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 (3) (f)着色部の下部 ※ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装 ・ 図示</p>	種類	表層	部位	カラー舗装の厚さ	※ 加熱系カラー舗装	アスファルト混合物 石油樹脂系混合物	※ 車路 (基層なし) ・ 車路 (基層あり)	※ 50 ※ 30	・ 常温系カラー舗装	・ ニート工法 ・ 塗布工法	車路及び歩行者用通路	3~5 1程度以下																	
種類	表層	部位	カラー舗装の厚さ																											
※ 加熱系カラー舗装	アスファルト混合物 石油樹脂系混合物	※ 車路 (基層なし) ・ 車路 (基層あり)	※ 50 ※ 30																											
・ 常温系カラー舗装	・ ニート工法 ・ 塗布工法	車路及び歩行者用通路	3~5 1程度以下																											
○22.6.3 材料	(1) (f)加熱系混合物に添加する着色骨材又は自然石 ・ 有色骨材(焼成) ・ 着色骨材(樹脂被覆) ・ 図示																													
○22.6.4 配合その他	(1) (f)加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料の添加量 ・ 図示 (2) ニート工法及び塗布工法の配合その他 ・ 図示																													
○22.6.6 試験	(1) (f)加熱系混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う (付加) 加熱系混合物の抽出試験を行わない場合、混合所の材料計量印字記録を提出し、配合が基準値を満足する事を示すこと。																													
22.7節 透水性アスファルト舗装																														
○22.7.2 舗装の構成及び仕上り	(1)舗装の構成 ※ 図示 (2) (f)舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの																													
○22.7.6 試験	(付加) (3)開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う (付加) 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験を行わない場合、アスファルト混合所の材料計量印字記録を提出し、配合が基準値を満足する事を示すこと。																													
22.8節 ブロック系舗装																														
○22.8.2 舗装の構成及び仕上り	(1) 舗装の構成及び厚さ ※ 図示 ・ 表22.8.1による (f)コンクリート平板舗装の目地材 ※ 砂 ・ モルタル ・ 図示 (f)舗石舗装の基層 ※ 図示 ・ アスファルト混合物(50mm) ・ コンクリート版(70mm) (f)コンクリート平板舗装のクッション材 ・ 砂 ※ 空練りモルタル 舗石舗装のクッション材 ・ 砂 ※ 空練りモルタル (2) 仕上がり面の平たん性 ※ 歩行に支障となる段差がないこと																													
○22.8.3 材料	(1)コンクリート平板の種類、寸法及び厚さ ※ 図示 ・ 厚さ60mm (付加) 視覚障害者誘導用ブロック等はJIS T9251により色は黄色系とする。車路及び駐車場は厚さ80mm、歩行者用通路は厚さ60mmとし、平面寸法は300×300mmとする。 (2) インターロッキングブロック (JIS A 5371による) ※ 図示 ・ 下表による <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法・厚さ(mm)</th> <th>表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※ 普通ブロック (N)</td> <td>厚さ 車路 ※ 80mm ・ 歩行者用通路 ※ 60mm</td> <td>※ 標準品</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック (P)</td> <td>※ 厚さ100×200mm</td> <td>・ 擬石ショットプラスト仕上</td> </tr> <tr> <td>・ 保水性ブロック (M)</td> <td>※ 厚さ80mm ・ 厚さ100mm</td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 舗石用石材の種類、形状及び寸法 ※ 図示 ・ 下表による <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法・厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> </tr> <tr> <td>※ 小舗石(花こう岩)</td> <td>※ 約90×約90×約90</td> <td>※ 目地張り</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・ うろこ張り</td> </tr> </table> <p>(付加) (6)透水性ブロック系舗装(透水平板、透水性インターロッキングブロック等)の路盤とクッション材(砂)の間には透水シートを敷設する。 品質：不織布製透水シート 透水性：1×10-2cm/sec以上 引張り強度：25kg/5cm</p></p>	種類	形状・寸法・厚さ(mm)	表面加工等	※ 普通ブロック (N)	厚さ 車路 ※ 80mm ・ 歩行者用通路 ※ 60mm	※ 標準品	・ 透水性ブロック (P)	※ 厚さ100×200mm	・ 擬石ショットプラスト仕上	・ 保水性ブロック (M)	※ 厚さ80mm ・ 厚さ100mm		種類	形状・寸法・厚さ(mm)	施工方法	※ 小舗石(花こう岩)	※ 約90×約90×約90	※ 目地張り	・		・ うろこ張り								
種類	形状・寸法・厚さ(mm)	表面加工等																												
※ 普通ブロック (N)	厚さ 車路 ※ 80mm ・ 歩行者用通路 ※ 60mm	※ 標準品																												
・ 透水性ブロック (P)	※ 厚さ100×200mm	・ 擬石ショットプラスト仕上																												
・ 保水性ブロック (M)	※ 厚さ80mm ・ 厚さ100mm																													
種類	形状・寸法・厚さ(mm)	施工方法																												
※ 小舗石(花こう岩)	※ 約90×約90×約90	※ 目地張り																												
・		・ うろこ張り																												
22.9節 砂利敷き																														
○22.9.2 材料	砂利敷きの種別と適用範囲 ※ 下表による ・ 図示 歩行者用通路 ※ A種 ・ B種 建物周囲その他 ・ A種 ※ B種 (付加) 砂利敷きと土の境界部の見切り材 ※ 不要 ・ 図示 ・ 杉目地板(防露処理) ・ 土木安定シート ・ 金属製見切り材 ・ PVC製見切り材																													

22.10節 平たん性舗装	(付加)									
○22.10.1 基本要品質	平たん性舗装の施工については、(社)日本道路協会「舗装施工便覧」の最新版による。									
○22.10.2 舗装の構成と仕上り	構成および厚さ ※ 図示 ・ 下表による 路盤 ※ 150mm ・ 開粒度アスファルト ※ 40mm ・ 50mm ・ 100mm 舗装厚さの許容差 ※ 22.4.2(3)による ・ 舗装の平たん性 ※ 水たまりを生じない程度									
○22.10.3 材料	開粒度アスファルト ※ I型 ・ II型 浸透用セメントミルク ※ 普通タイプ ・ 早強タイプ ・ 超速硬タイプ									
○22.10.4 仕上げ	顔料の添加 ※ 行わない ・ 行う (色：現場指示による) 表面仕上げ処理 ※ ショットプラスト ・ 行わない									
○22.10.5 試験	舗装厚さの試験 ※ 22.4.6 (1) による 舗装の平たん性 ※ 22.4.6 (2) による アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う アスファルト混合物の抽出試験を行わない場合、アスファルト混合所の材料計量印字記録を提出し、配合が基準値を満足する事を示すこと。									
22.11節 透水性コンクリート舗装 (ポーラスコンクリート舗装)	(付加)									
○22.11.1 基本要品質	透水性コンクリート舗装(ポーラスコンクリート舗装)はNETIS登録済みの工法、または同等品とし、技術資料を提出して監理者の承認を受ける。 施工については、(社)日本道路協会「舗装施工便覧」(最新版)および「透水性舗装ガイドブック2007」に基づき、施工計画書を提出すること。									
○22.11.2 舗装の構成と仕上り	構成及び厚さ ※ 図示 ・ 下表による <table border="1"> <tr> <th>路盤</th> <th>透水性コンクリート</th> </tr> <tr> <td>※ 150mm</td> <td>・ 150mm (大型車) ※ 130mm (緊急車両) ・ 100mm (駐車場) ・ 80mm (歩道)</td> </tr> </table>	路盤	透水性コンクリート	※ 150mm	・ 150mm (大型車) ※ 130mm (緊急車両) ・ 100mm (駐車場) ・ 80mm (歩道)					
路盤	透水性コンクリート									
※ 150mm	・ 150mm (大型車) ※ 130mm (緊急車両) ・ 100mm (駐車場) ・ 80mm (歩道)									
○22.11.3 材料・仕上げ	※ 図示 ・ 下表による <table border="1"> <tr> <th>強度</th> <th>透水係数</th> <th>仕上げ</th> </tr> <tr> <td>※ 曲げ強度 2.5N/m²</td> <td>10¹ cm/sec以上</td> <td>※ 標準品 ・ 吹付着色 ・ 洗い出し</td> </tr> <tr> <td>・ 曲げ強度 4.5N/m²</td> <td>10² cm/sec以上</td> <td>※ 標準品</td> </tr> </table>	強度	透水係数	仕上げ	※ 曲げ強度 2.5N/m ²	10 ¹ cm/sec以上	※ 標準品 ・ 吹付着色 ・ 洗い出し	・ 曲げ強度 4.5N/m ²	10 ² cm/sec以上	※ 標準品
強度	透水係数	仕上げ								
※ 曲げ強度 2.5N/m ²	10 ¹ cm/sec以上	※ 標準品 ・ 吹付着色 ・ 洗い出し								
・ 曲げ強度 4.5N/m ²	10 ² cm/sec以上	※ 標準品								
○22.11.4 施工	目地は、標仕22.5.4(5)(f)、(i)による。目地の構造、間隔は舗装の製造所の基準に基づき、割付図を作成し、監理者に提出すること。									
○22.11.5 試験	コンクリート版の厚さ ※ 22.5.6 (1) による 舗装の平たん性 ※ 22.4.6 (2) による									
22.12節 その他	(付加)									
○22.12.1 路面表示区画線	表示位置・間隔等 ※ 図示 塗料種類：JIS K 5665 路面表示用塗料 ※ 3種1号(溶融) ・ 1種(常温) ・ 2種(加熱) 路面標示塗料用ガラスビーズ JIS R 3301 ※ 1号 (含まない) (含まない) 色 ※ 白 ・ 黄 塗布幅、通行方向 ※ 150mm ・ 100mm 塗布幅、通行直角方法 ※ 300mm ・ 450mm 塗布厚さ ※ 1.0mm以上									
○22.12.2 道路付属施設	防護柵 表示、材質などは日本道路協会制定「防護柵の設置基準・同解説(改訂版)」及び「車両用防護柵標準仕様・同解説(改訂版)」による。 形状、取付位置 (※ 図示) 道路標識 表示、材質などは日本道路協会制定「道路標識設置基準・同解説」による。 形状、取付位置 (※ 図示)									

NIHON SEKKEI
株式会社 日本設計

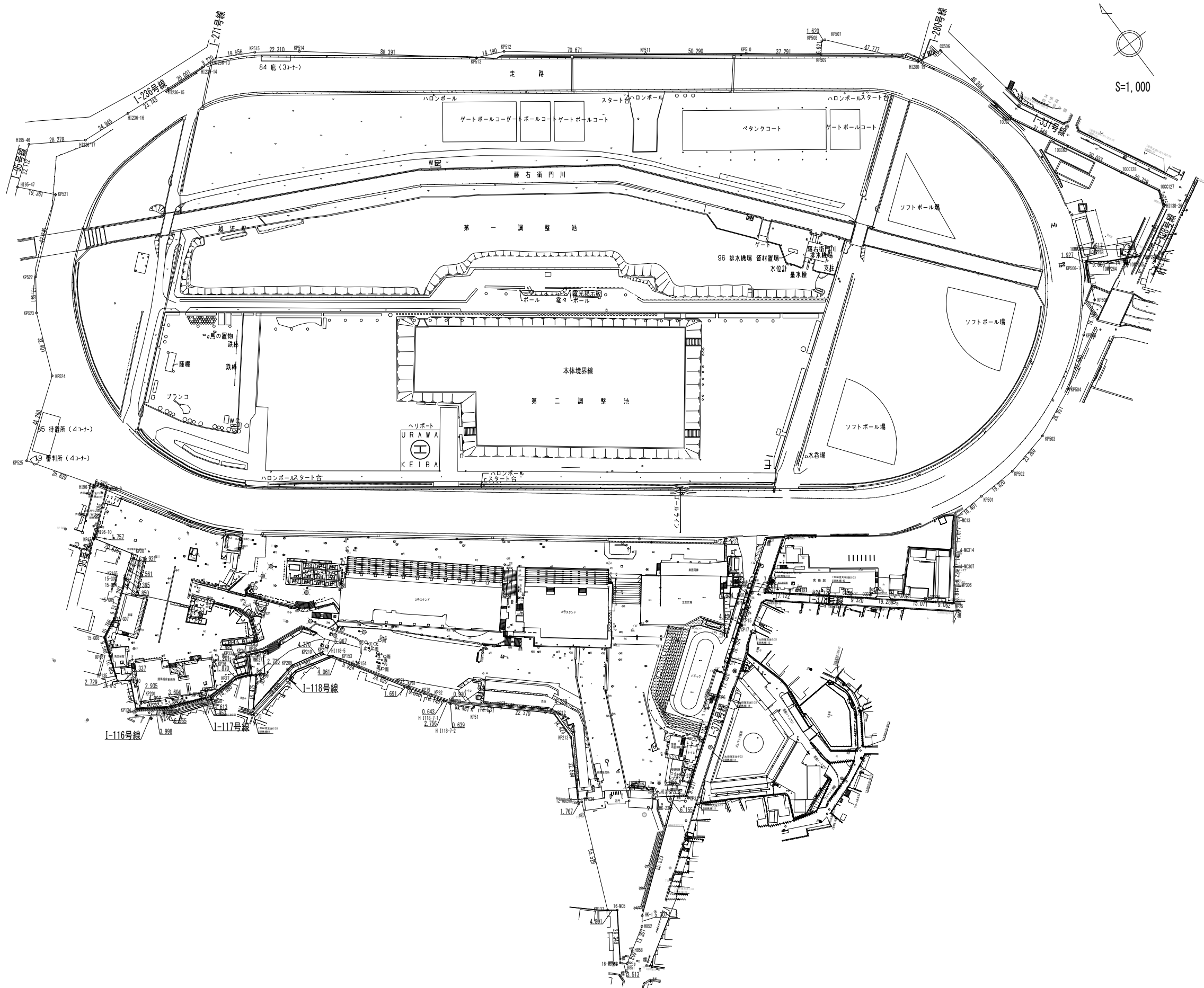
承認	/00.00.00	完成	/00.00.00	作成	/00.00.00
承認	/	確認	/	作成	/
承認	/	確認	/	作成	/
承認	/	確認	/	作成	/

課長	技術参考	主査	主査	担当
飛塚	中里	岩崎	矢島	矢島

設計	1級建築士登録第 322398号 平塚 哲
設計	1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑

浦和競馬場走路照明第2工区建築工事	特記仕様書(5)
-------------------	----------

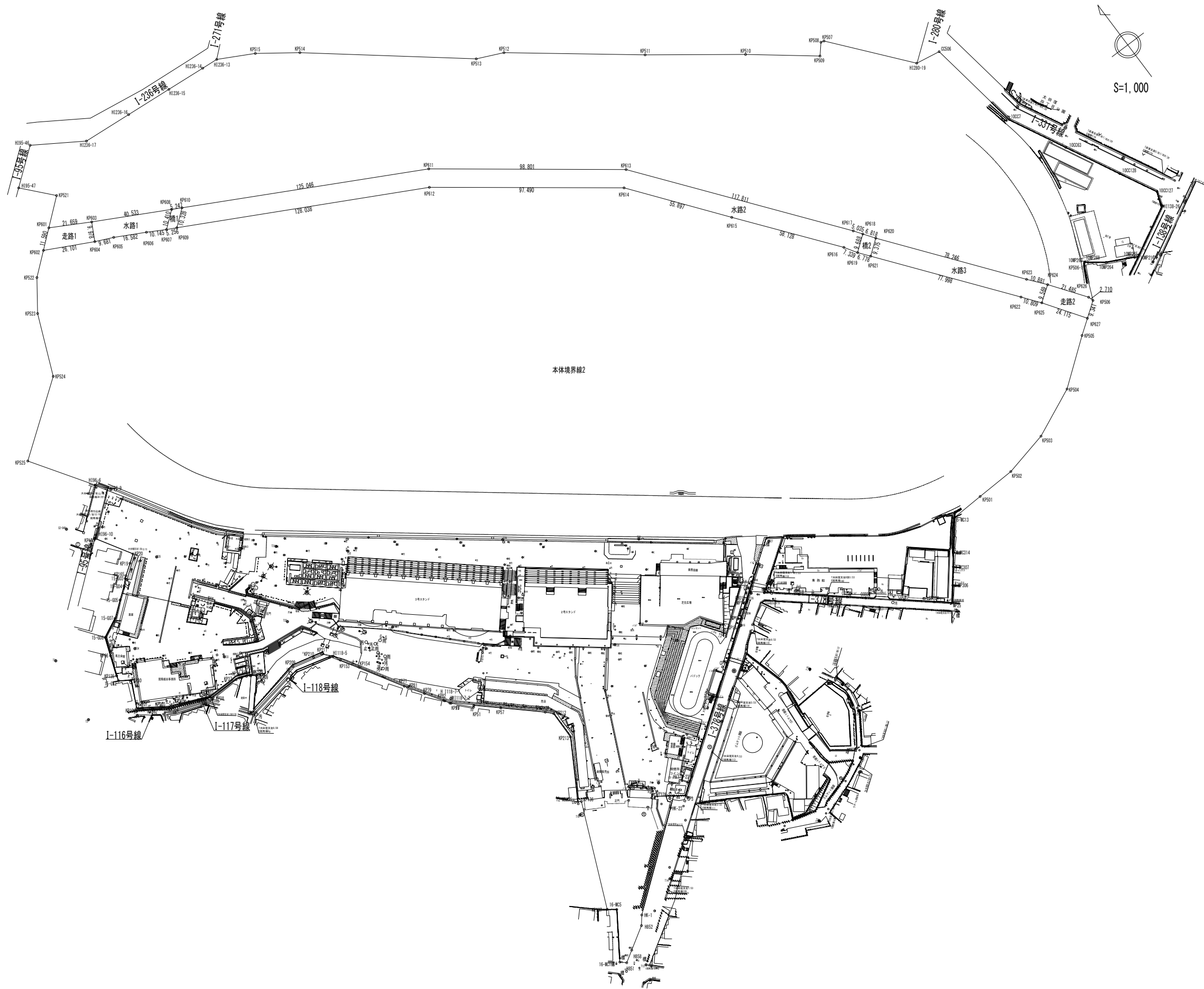
TOK_CUB2.dwg	図面番号 A-1007
図名	建築図



公算項目	面積	延床面積	容積率	容積	㎡
敷地面積	12,150.00	-	-	-	12,150.00
建物面積	1,200.00	1,200.00	10.00	1,200.00	1,200.00
駐車場の面積	1,500.00	-	-	-	1,500.00
その他	1,000.00	-	-	-	1,000.00
合計	16,650.00	1,200.00	7.50	1,200.00	18,850.00

工事箇所	さいたま市南区大谷塚一丁目地内
図面名	本体求積図
縮尺	A1:1/1000
埼玉県浦和競馬組合	

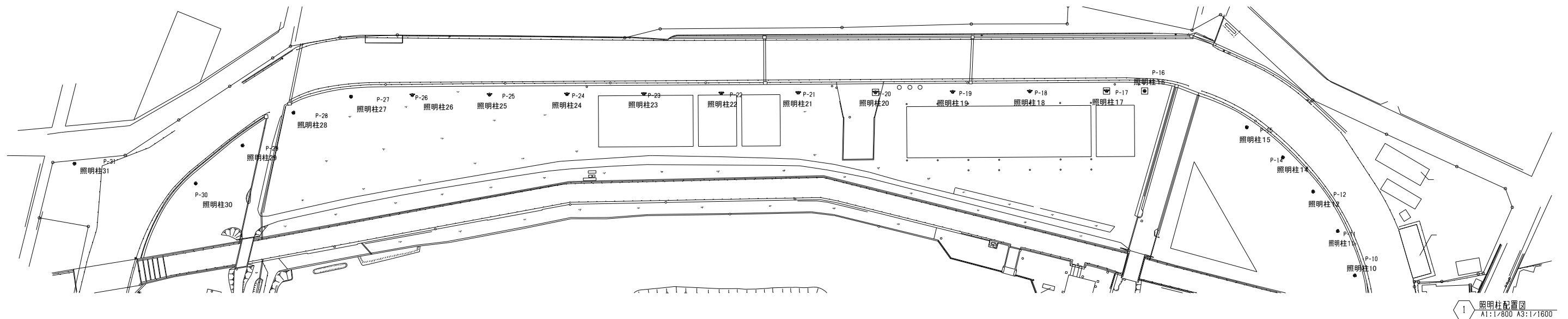
 株式会社 日本設計	承認	/00.00.00	完成図	保管	承認	訂正	埼玉県 浦和競馬組合	課長	技術参事	主査	主査	担当	設計 1級建築士登録第 322398号 平塚 晋 設計 1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑	浦和競馬場走路照明第2工区建築工事	図面名称 敷地現況図・敷地求積図(1)	縮尺 1/1000(A1)1/2000(A3)	図面番号 A-1021	区分 建築図	STS_1_Cue2.dwg
	確認	/00.00.00	作成					飛塚	中里	岩崎	矢島	矢島							



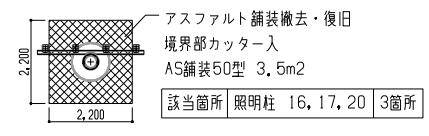
地籍 区画1		公簿区画		m	
区画番号	面積	区画番号	面積	区画番号	面積
KP500	1,559.27	KP500	1,559.27	KP500	1,559.27
KP501	1,559.27	KP501	1,559.27	KP501	1,559.27
KP502	1,559.27	KP502	1,559.27	KP502	1,559.27
KP503	1,559.27	KP503	1,559.27	KP503	1,559.27
KP504	1,559.27	KP504	1,559.27	KP504	1,559.27
KP505	1,559.27	KP505	1,559.27	KP505	1,559.27
KP506	1,559.27	KP506	1,559.27	KP506	1,559.27
KP507	1,559.27	KP507	1,559.27	KP507	1,559.27
KP508	1,559.27	KP508	1,559.27	KP508	1,559.27
KP509	1,559.27	KP509	1,559.27	KP509	1,559.27
KP510	1,559.27	KP510	1,559.27	KP510	1,559.27
KP511	1,559.27	KP511	1,559.27	KP511	1,559.27
KP512	1,559.27	KP512	1,559.27	KP512	1,559.27
KP513	1,559.27	KP513	1,559.27	KP513	1,559.27
KP514	1,559.27	KP514	1,559.27	KP514	1,559.27
KP515	1,559.27	KP515	1,559.27	KP515	1,559.27
KP516	1,559.27	KP516	1,559.27	KP516	1,559.27
KP517	1,559.27	KP517	1,559.27	KP517	1,559.27
KP518	1,559.27	KP518	1,559.27	KP518	1,559.27
KP519	1,559.27	KP519	1,559.27	KP519	1,559.27
KP520	1,559.27	KP520	1,559.27	KP520	1,559.27
KP521	1,559.27	KP521	1,559.27	KP521	1,559.27
KP522	1,559.27	KP522	1,559.27	KP522	1,559.27
KP523	1,559.27	KP523	1,559.27	KP523	1,559.27
KP524	1,559.27	KP524	1,559.27	KP524	1,559.27
KP525	1,559.27	KP525	1,559.27	KP525	1,559.27
KP526	1,559.27	KP526	1,559.27	KP526	1,559.27
KP527	1,559.27	KP527	1,559.27	KP527	1,559.27
KP528	1,559.27	KP528	1,559.27	KP528	1,559.27
KP529	1,559.27	KP529	1,559.27	KP529	1,559.27
KP530	1,559.27	KP530	1,559.27	KP530	1,559.27
KP531	1,559.27	KP531	1,559.27	KP531	1,559.27
KP532	1,559.27	KP532	1,559.27	KP532	1,559.27
KP533	1,559.27	KP533	1,559.27	KP533	1,559.27
KP534	1,559.27	KP534	1,559.27	KP534	1,559.27
KP535	1,559.27	KP535	1,559.27	KP535	1,559.27
KP536	1,559.27	KP536	1,559.27	KP536	1,559.27
KP537	1,559.27	KP537	1,559.27	KP537	1,559.27
KP538	1,559.27	KP538	1,559.27	KP538	1,559.27
KP539	1,559.27	KP539	1,559.27	KP539	1,559.27
KP540	1,559.27	KP540	1,559.27	KP540	1,559.27
KP541	1,559.27	KP541	1,559.27	KP541	1,559.27
KP542	1,559.27	KP542	1,559.27	KP542	1,559.27
KP543	1,559.27	KP543	1,559.27	KP543	1,559.27
KP544	1,559.27	KP544	1,559.27	KP544	1,559.27
KP545	1,559.27	KP545	1,559.27	KP545	1,559.27
KP546	1,559.27	KP546	1,559.27	KP546	1,559.27
KP547	1,559.27	KP547	1,559.27	KP547	1,559.27
KP548	1,559.27	KP548	1,559.27	KP548	1,559.27
KP549	1,559.27	KP549	1,559.27	KP549	1,559.27
KP550	1,559.27	KP550	1,559.27	KP550	1,559.27

工事箇所	さいたま市南区大谷場一丁目地内
図面名	走路・橋・水路求積図
縮尺	A1:1/1000
埼玉県浦和競馬組合	

 株式会社 日本設計	承認 / 00.00.00 確認 / 00.00.00 作成 / 00.00.00	保管 / 確認 / 作成 /	訂正 / 特記 /	埼玉県浦和競馬組合 課長 飛塚 中里 岩崎 矢島 矢島 技術参与 主査 主査 担当 設計 1級建築士登録第 322398号 平塚 晋 設計 1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑	浦和競馬場走路照明第2工区建築工事	図面名称 敷地求積図(2) 縮尺 1/1000(A1)1/2000(A3)	STS_2_CUB2.dwg 図面番号 A-1022 区分 建築図
---------------	---	----------------------	--------------	--	-------------------	--	---



1 照明柱配置図
A1:1/800 A3:1/1600



2 舗装撤去範囲図
A1:1/100 A3:1/200

承認	/00.00.00	完成図	保管	/	承認	/
確認	/00.00.00		確認	/		/
作成	/00.00.00		作成	/		/

訂正		特記	

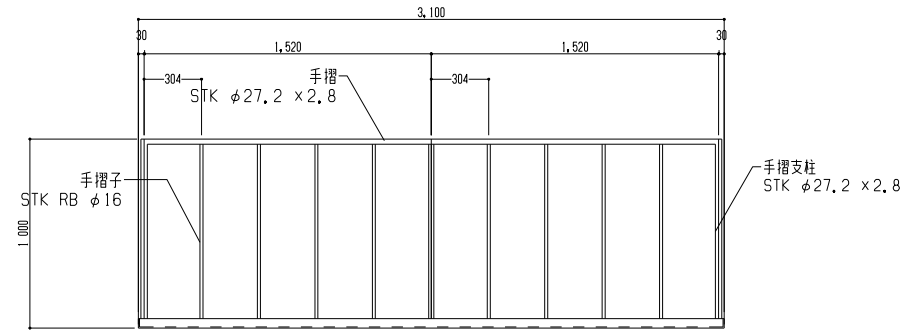
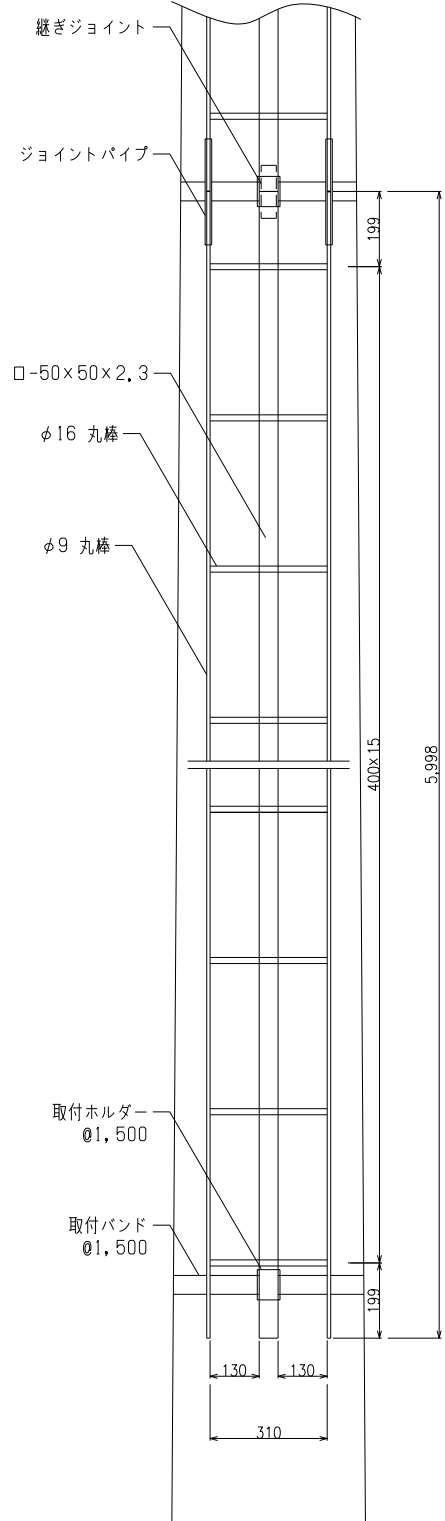
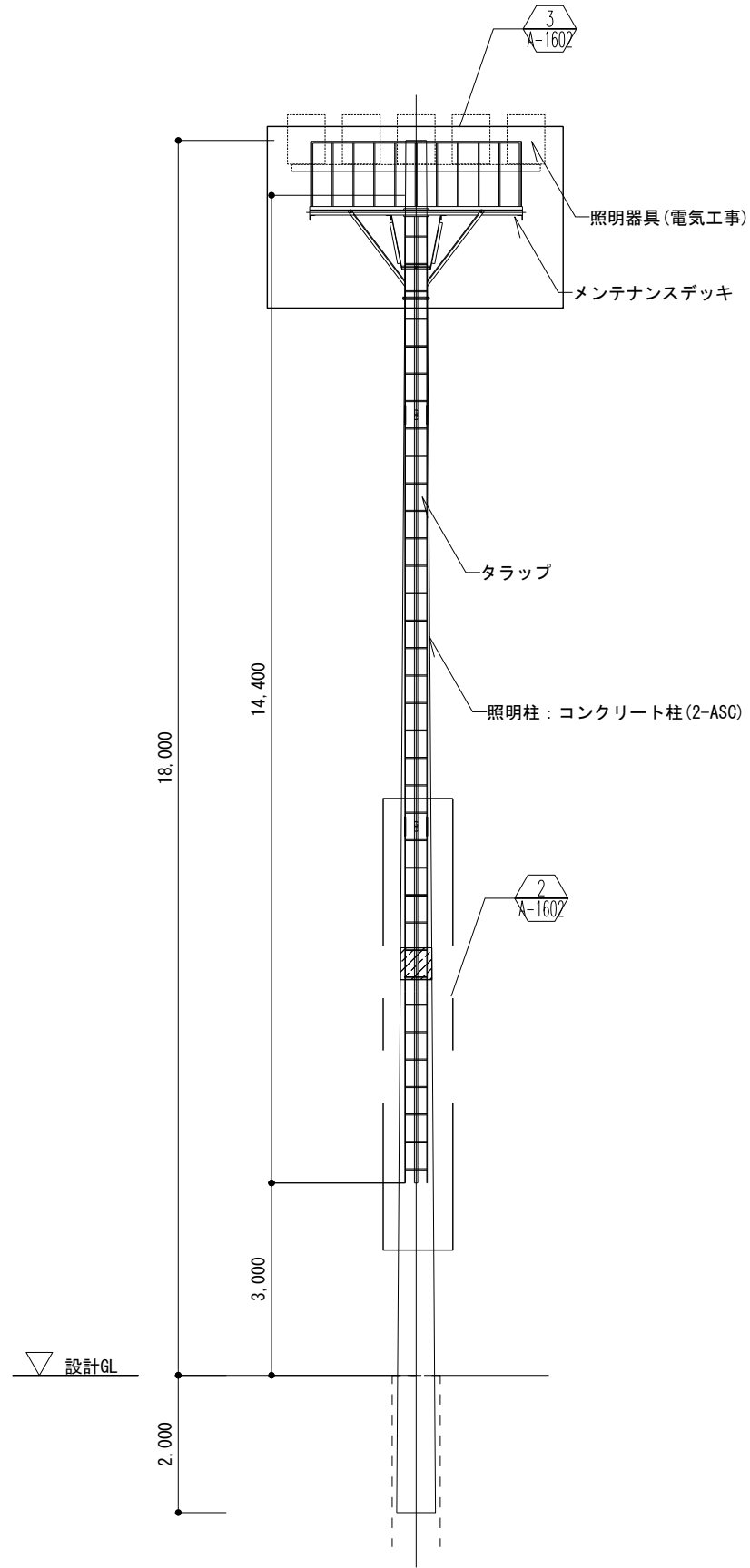
埼玉県 浦和競馬組合	課長	技術参与	主査	主査	担当
	飛塚	中里	岩崎	矢島	矢島

設計	1級建築士登録第 322398号 平塚 晋
設計	1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑

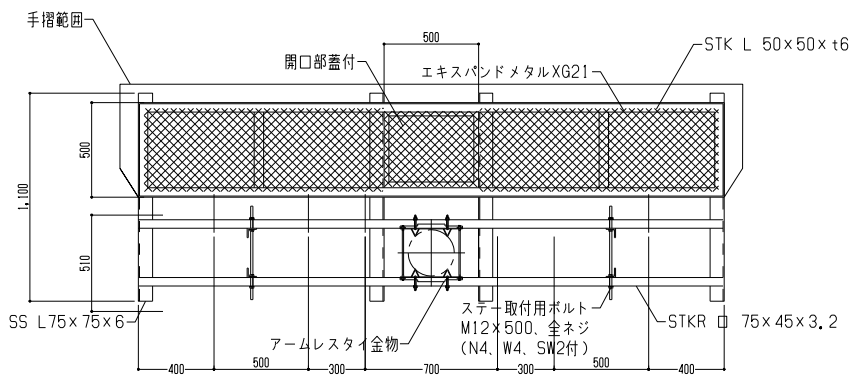
浦和競馬場走路照明第2工区建築工事

図面名称	走路照明柱配置図・舗装撤去復旧図
縮尺	図示

図面番号	A-1601
区分	建築図

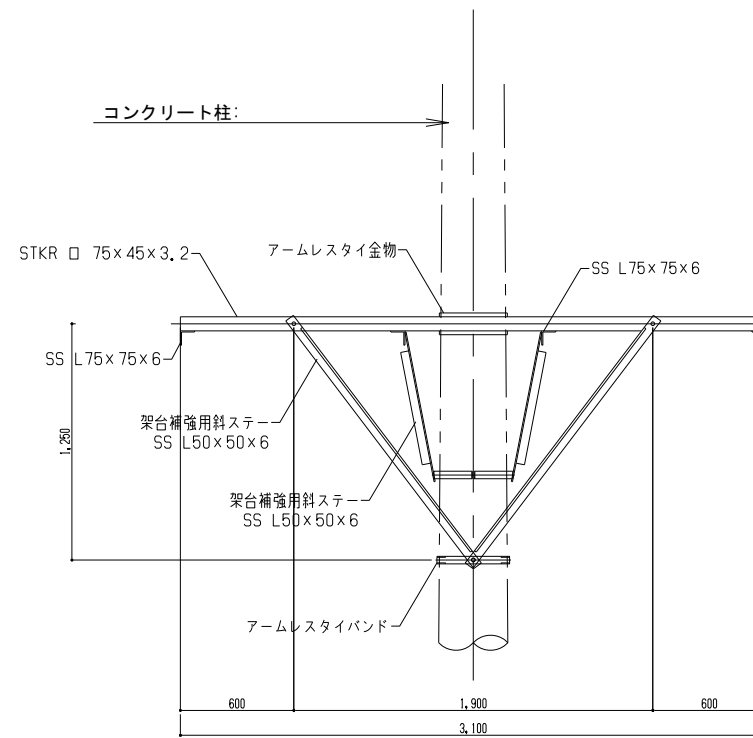


手摺 正面図

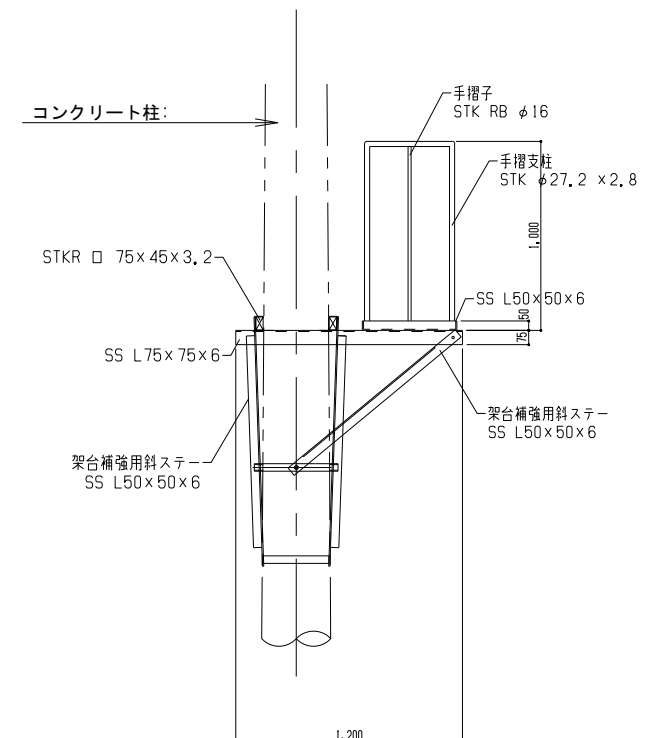


メンテナンスデッキ 平面図

注 1). 仕上: 溶融亜鉛メッキ (JIS H8641-2007)
第二種 HDZ の規格とする。



メンテナンスデッキ 正面図



メンテナンスデッキ 側面図

*日本コンクリート工業 NC-POLE メンテナンス梯子 同等品以上

